

## 平成22年1月期 決算短信(非連結)

平成22年3月4日  
上場取引所 JQ

上場会社名 ピープル株式会社  
コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐淵 千鶴子  
問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子  
定時株主総会開催予定日 平成22年4月13日  
有価証券報告書提出予定日 平成22年4月19日

TEL 03-3862-2768  
配当支払開始予定日 平成22年4月14日

(百万円未満四捨五入)

### 1. 22年1月期の業績(平成21年1月21日～平成22年1月20日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年1月期	2,936	10.8	335	81.1	374	212.8	235	—
21年1月期	2,650	△1.4	185	0.3	120	△37.8	△76	△175.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年1月期	53.87	—	12.9	17.2	11.4
21年1月期	△17.39	—	—	5.6	7.0

(参考) 持分法投資損益 22年1月期 ー百万円 21年1月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年1月期	2,372	1,891	79.7	434.03
21年1月期	1,989	1,752	88.1	402.15

(参考) 自己資本 22年1月期 1,891百万円 21年1月期 1,752百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年1月期	608	103	△109	1,689
21年1月期	194	△95	△109	1,088

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
21年1月期	—	—	—	25.00	25.00	109	—	5.9
22年1月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23年1月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

- 平成22年1月期の期末配当につきましては、1株当たり40.00円～45.00円を予想しております。詳細につきましては9ページ「1.経営成績 (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当<利益配分について>」をご参照下さい。
- 平成23年1月期の配当予想につきましては、第2四半期末配当の有無につきましては7月中旬に、期末配当につきましては、第3四半期が終了し年末商戦状況を見極めた上で発表させていただきます。

### 3. 23年1月期の業績予想(平成22年1月21日～平成23年1月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

当社の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、第3四半期までは通期の予想発表を控えさせていただきます。

#### 4. その他

##### (1) 重要な会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

詳細は「4.財務諸表 (6)重要な会計方針」をご覧ください。

##### (2) 発行済株式数(普通株式)

- |                     |                   |                   |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年1月期 4,437,500株 | 21年1月期 4,437,500株 |
| ② 期末自己株式数           | 22年1月期 79,816株    | 21年1月期 79,816株    |

1株当たり当期純利益の算定の基礎となる株式数については、27ページ「4.財務諸表 (8)財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご覧ください。

5. 平成23年1月期 第1四半期の業績予想 (平成22年1月21日～平成22年4月20日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		第1四半期純利益	1株当たり第1四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %	円 銭
平成23年1月期第1四半期	602	(△1.7)	10	(△75.0)	※	※	※	※
平成22年1月期第1四半期	612	(22.7)	40	(-)	43	(-)	25 (-)	5 75

- (注) 1. 経常利益および第1四半期純利益ならびに1株当たり第1四半期純利益につきましては、予想対象から除外させていただいております。  
 2. 営業利益予想の詳細につきましては、7ページ「(1) 経営成績に関する分析 ②次期の見通し」をご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の概況

1) 当期業績全般の概況

	金額	対前期比
売上高	2,935,760千円	10.8% 増
営業利益	335,348千円	81.1% 増
経常利益	374,331千円	212.8% 増
当期純利益	234,728千円	-
1株当たり当期純利益	53.87円	
1株当たり純資産	434.03円	

当33期に入り失業率は過去最高水準、3年ぶりのデフレ宣言等、厳しい条件が入り混じり、景気全般は持ち直しの動きを見せながらも、「自律回復」には至らない状況が続きました。当社を取り囲む玩具・自転車どちらの市場も、消費の行方は不透明さを増し、楽観出来ない、製、販三層全て緊張を強いられる1年となりました。

しかし、この状況にありながら当社では、過去4年の低迷期から抜け出し、当期売上高は29億36百万円前期比10.8%増、営業利益では5年ぶりにガイドラインの利益率水準に戻し、まさに逆風の中の「自律回復」を当33期に遂げる事ができました。

何故、景気の影響をまともに受けず回復に辿り付けたかは、取引先各社のデフレ対応にひるまず、価格訴求より消費者の「買いたい！」意欲を引き出すコンセプトの強化に重点を置いた高付加価値により、消費者動員数を減らすどころかむしろ増やした点にあります。

玩具市場ではデフレ対応に上代値下げを打ち出すメーカーさえも現われました。しかし、低価格でも必要ないと消費者に切り捨てられ節約される商品群と、少々出費がかさんでもより良いものとして選択される商品群との明暗が消費傾向に現れました。当社の高価格商品群は、消費者に切り捨てられない強さを示し、大部分が来期に繋がる商品群として生き残りました。

縮小トレンドを迎えてきた自転車市場では、過去6年間販売している「いきなり自転車」が、年間消費者動員数の限界の壁を破り、当33期に成長路線に転じた事は私達に勇気を与えました。7年目にして前年までの倍数を越える新しいお客様に広がった事は、当社の開発コンセプトに自信を持つ大きな機会となりました。

これら売上高の回復は、前年までいびつとなっていた利益構造を健全化し、営業利益では3億35百万円、前年同期比81.1%増まで上げ、経営指標とする営業利益率10%を越え11.4%までの利益構造回復につなげました。

市場経済は好況・不況を繰り返しながら永遠に成長・拡大を続けるという考えのもとに成り立っています。しかし、当社がこの一般論を元に消費低迷に戸惑い量的販売競争に走っていれば、当期のような逆風の中の「自律回復」を成し遂げられなかったと確信しています。

消費者から目を離さず、潜在需要の掘り起こしに集中し、目標は売上に置かず、徹底して経営構造を維持する事にこだわり、持続性に重点をおいた経営こそが、過去4年の低迷から不況期に這い上がる道筋を作ったのではないかと考えるからです。

但し、当33期の構造回復はスタートを踏み出したに過ぎず、取り戻した構造を維持していく本当の持続力を発揮する本番は始まったばかりです。当33期新製品は成功品ばかりではなく、多様化した消費者の新しい目線を再び新たな気持ちで捉えなおす機会ともなりました。次期以降の新たな挑戦に対し侮らず、しかし、ひるまずに取り組み、持続力が試される本番に備えてまいりたいと考えております。

(当期および過去5期の売上高・営業利益率の推移)















































